

団長の稽古日記

1月13日(土)「音声ガイド収録」

劇団ふあんハウスが「音声ガイドサービス」を始めた約20年ほど前から、ずーっとボランテアで音声ガイドのナレーションを担当して下さっていて、現在は全国放送のラジオ番組でメインパーソナリティーをされている「ボイス・エマノン」さんが稽古場にお越しになる日。

14時からのお約束なんだけど、劇団ふあんハウス音声ガイドテクニカルチームは、収録場所となる三田の稽古場へ10時に集合し、簡易スタジオを創るべく、収録に使用する機材、パソコン、マイク等のテストを念入りに繰り返す。

その収録、前回までのmp3形式から、wav形式に戻して録る事になった。元々劇団ふあんハウスでは、音声ガイドの収録はずっとwav形式で収録していたが、数年ほど前からmp3って形式で録っていたのだそう。

収録方法等、テクニカル全般は担当者に任せていたので、wavだのmp3だのって私自身、考えた事はなかったけれど、今回より音声ガイド・エンジニアとして十数年ぶりに本格的復活した、たけもっちゃん(竹本和弘)から「音声ガイドはwavでいくべき」と言われ、「何それ?」と尋ねたら、wavというのは、録音したそのままの音質で保存するファイルの事で、

そのwavを圧縮したものが、mp3というらしい。

そこでこの二つのファイルをよくよく聞き比べてみたら、確かにwavのほうが音質がいいように感じた。それなのにここ数年、何故にmp3形式で収録していたのか?

それはmp3はデータが圧縮されている分、音質が多少劣化するものの、データ量が多くなっても、パソコン間でのやり取りが容易であるという利点や、編集がし易いとの理由からmp3で収録していたそう。

ただ、パソコン間でのやり取りとか編集がし易いというのはこちらの都合であり、利用される方の立場からすれば、モノラルラジオから流れるガイドをイヤフォンで聞くとは言えども、当然ながら音質良く収録した方がいいに決まっている!そこで今回から、再びwavで収録する事にしたのだ。

あとマイクもね、大きく分けてコンデンサーマイクとダイナミックマイクの2種類あるんですよ!それも今回たけもっちゃんから教わった。

コンデンサーマイクは電源供給が必要だけど、ものすごく感度が良く、ありとあらゆる細かい音までちゃんと拾う。一方のダイナミックマイクは、電源供給なしで使用出来る、マイクに向かって真つすぐの音を拾うのに特化しているのが特徴。

どちらがどうってのは、使う場所や用途によりけり。

そこで今回は音声ガイドを収録するのあたり、この2つのマイクを用意して、何度となくマイクを交互に使用してのテストを繰り返した結果、完全防音でない部屋での収録なので、ダイナミックマイクで収録する事になった。

そんな話はさておいて、準備もすっかり整った収録現場に、ボイスさんは、昔と変わらず若々しく爽やかに登場! (私と同じ歳:でも学年は私の方がひとつ下だから私の方が彼よりも若いけどねえ) 1年に1度しかお会いしないのだが、毎日ラジオで元気な声は聴いているので、「おおお!久しぶり!」って感じがしない。

まずは控え室にて打ち合わせを行い、「録音スタジオ」に移動してもらい、早速収録開始!!

一応「録音室」って名の部屋をお借りしての収録だけど、研究に研究を重ねて、凝りに凝った高性能な「ダイナミックマイク」を購入したため、感度のいいコンデンサーマイクではないのに、施設を利用される他の団体の方々の様な音をもマイクが拾ってしまうという事態となり、その都度、録音中断をせざる得なかったのだが、ボイスさんは穏やかに協力的に、そんな環境下の中でも音のしないタイミングを見計らって、妥協のないパフォーマンスをして下さった。

普段は、それこそ世界を代表する(と思ふ)完璧な収録スタジオでお仕事をしているのに、こんな環境での収録で、なんとも申し訳なかったけれど、おかげ様で、今回もとても素敵な音声ガイドが完成。

収録後の恒例となった劇団メンバーとお菓子をつまんでの座談会では、ボイスさんの貴重なお話が聴けて、皆大変喜んでおりました。

お忙しい中でのご協力、本当にどうもありがとうございました!またお会い出来る日を、楽しみにしております。これからもお互い健康に過ごしましょうね。

と言うわけで!今回の劇団ふあんハウスの音声ガイドは、最高レベルのナレーションをして下さったボイスさんと、さらなる音質向上に努めたテクニカル軍団の総力を挙げたガイドとなりましたので、ご利用される方はご期待いただければと思います。

収録を終え、この日の夜は舞台スタッフさん勢ぞろいの緊張感あふれる中、「通し」稽古を行った。

全員が衣裳を着てマイクを施し、本番がいよいよ迫ってきたという気迫が感じられる稽古。

舞台の前面が広くなった事による動きの修正と、登・退場の整理もついでだったので、もう一息!次回の最終稽古を待つのであります。